



✿ 手足口病とは ✿

口の中や手足などに水疱性の発疹が出る、ウイルスの感染によって起こる病気です。感染経路は、飛沫感染、接触感染、糞口感染（便の中に排泄されたウイルスが口に入って感染すること）が知られています。報告数の90%前後を5歳以下の乳幼児が占めています。日本では毎年、夏を中心として発生し、7月下旬に流行のピークを迎えます。



✿ 症状 ✿

感染してから3~5日後に、口の中、手のひら、足底や足背などに2~3mmの水疱性発疹が出ます。発熱は約3分の1にみられますが、あまり高くないことがほとんどであり、高熱が続くことは通常はありません。ほとんどは数日間のうちに治る病気ですが、まれに髄膜炎、小脳失調症、脳炎などの中枢神経系の合併症のほか、心筋炎、神経原性肺水腫、急性弛緩性麻痺など、さまざまな症状が出る場合があります。

✿ 治療について ✿

特効薬はなく、特別な治療方法はありません。経過観察をしっかりと行い、高熱が出る、発熱が2日以上続く、嘔吐する、頭を痛がる、視線が合わない、呼びかけに答えない、呼吸が速くて息苦しそう、水分が取れずにおしっこが出ない、ぐったりとしているなどの症状がみられた場合は、すぐに医療機関を受診しましょう。

✿ 予防対策 ✿

手足口病には有効なワクチンはなく、発病を予防できる薬もありません。一般的な感染対策は、接触感染を予防するために手洗いをしっかりとすることと、排泄物を適切に処理することです。手洗いは流水と石けんで十分に行ってください。また、タオルの共用はしてはいけません。手足口病は、治った後も比較的長い期間、便の中にウイルスが排泄されますし、感染しても発病しないままウイルスを排泄している場合もあると考えられることから、日頃からのしっかりとした手洗いが大切です。



定点種別	疾患名	状況	19週(5/6~5/12)		20週(5/13~5/19)	
			報告数	定点当り	報告数	定点当り
C O V I D - 1 9	インフルエンザ	—	11	0.44	8	0.32
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	/	68	2.72	83	3.32
小 児 科	RSウイルス感染症	/	16	1.00	22	1.38
	咽頭結膜熱(プール熱)	—	7	0.44	7	0.44
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	—	75	4.69	102	6.38
	感染性胃腸炎	—	75	4.69	71	4.44
	水痘(みずぼうそう)	—	14	0.88	2	0.13
	手足口病	—	24	1.50	26	1.63
	伝染性紅斑(りんご病)	—	0	0.00	0	0.00
	突発性発しん	/	15	0.94	13	0.81
	ヘルパンギーナ	—	1	0.06	4	0.25
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	—	2	0.13	3	0.19
眼 科	急性出血性結膜炎	—	0	0.00	0	0.00
	流行性角結膜炎(はやり目)	—	4	0.80	5	1.00
基 幹	細菌性髄膜炎	/	0	0.00	0	0.00
	無菌性髄膜炎	/	1	0.20	2	0.40
	マイコプラズマ肺炎	/	0	0.00	0	0.00
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	/	0	0.00	0	0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	/	0	0.00	0	0.00

※「状況」欄は、疾患ごとの警報・注意報レベルを表示しています。表中の斜線は、基準値が定められていないことを示します。

○:警報レベル △:注意報レベル —:警報・注意報レベルなし